学校番号	１０１０

令和５年度　美術科

教科	美術	科目	鑑賞研究・美術	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

作品や作家について事前に対話型鑑賞を行い、其の後 DVD を鑑賞して作品や作家についての理解を深めていきます。
個々に興味のある作家の人生や作品についてのレポートを作成し、プレゼンテーションしながら相互鑑賞を行い、知識を広げていきます。

２　学習の到達目標

古今東西の文化財や美術作品、作家についての鑑賞研究を通して、美術に対する理解を深め、美術や美術文化を尊重する態度を養い、批評する能力を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	発見、日本美術	【鑑賞】 ・古くは琳派から現代のアニメ表現に至るまで幅広く日本の美術について学習していく	○			○	a:日本の伝統的な美術の表現の特質に関心を持ち、現代の表現への影響などについて理解しようとしている。 d:日本の伝統的な美術の表現の特質や様式、主題や表現方法、また現代の表現への影響などについて理解を深めている。	ワークシート 鑑賞活動の様子や発言内容
	拡大鑑賞レポート	【絵画・彫刻】 【鑑賞】 ・各自興味のある作品や作家について調べ、詳細なレポートを作成する ・プレゼンテーションを行い相互鑑賞	○ ○	○	○	○	a:描写の特徴を捉え、調べたことに興味をもっている。 b:様々な視点から研究し、内容をまとめている。 c:色彩や表現方法をよく観察し、できるだけ忠実に模写するよう混色や塗り方を工夫している。 d:作家の思いや工夫を理解している	制作の様子 制作途中の作品 作品 鑑賞活動の様子や発言内容
2学期	西洋美術の流れ	【鑑賞】 ・ルネサンスから現代アート、また日本美術との関わりも踏まえて、美術の歴史を学んでいく。	○			○	a: 様々な美術の歴史について興味をもっているか。 d:作家の思いや工夫を理解している	ワークシート 鑑賞活動の様子や発言内容
	西洋美術プレゼンテーション	【鑑賞】 【映像メディア表現】 ・各自興味のある作家について調べ、パワーポイント等を使って、プレゼンテーションを行う	○	○	○	○	a:美術史に興味をもって研究している。 b:様々な視点から研究し、内容をまとめている。 c:パワーポイントを効果的に活用し、工夫したプレゼンテーションをしている。 d:それぞれの作家の思いや工夫を理解している	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子 鑑賞ワークシート 作品
3学期	共同作品制作	【絵画・彫刻】 ・全員で色紙をちぎり、貼り絵で大作模写を制作する	○		○		a:選ばれた作品に興味をもっている c:作品をしっかり観察し、色の効果を考えて制作している	制作の様子 作品

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:発想や構想の能力　　c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。